

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識が身につく。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身につく。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力が身につく。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
---------	--

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
英語	NWA01	Communicative English I	必修	1年	英語のスピーキング力を高め、英語で自然に意思疎通できるようにする。	◎	◎	○	◎		
	NWA02	Communicative English II	必修	1年	英語のスピーキング力を高め、英語で自然に意思疎通できるようにする。	◎	◎	○	◎		
	NWA03	Reading I	必修	1年	英語の読解力を高め、様々なジャンルの英文を素早く正確に読むための基本的な語彙・文法・スキルが身につく。	◎	◎	◎	◎		
	NWA04	Reading II	必修	1年	英語の読解力を高め、様々なジャンルの英文を素早く正確に読むための基本的な語彙・文法・スキルが身につく。	◎	◎	◎	◎		
	NWA05	Reading III	必修	2年	英語の読解力をさらに高め、様々なジャンルの英文を素早く正確に読むための語彙・文法・スキルが身につく。	◎	○	◎	◎		
	NWA06	Reading IV	必修	2年	英語の読解力をさらに高め、様々なジャンルの英文を素早く正確に読むための語彙・文法・スキルが身につく。	◎	○	◎	◎		
	NWA07	Practical English	必修	2年	英語の聴解力を高め、自分から発信できるような英語の運用力が身につく。	◎	○	○	◎		
	NWA08	TOEIC I	必修	2年	TOEIC形式の問題演習をとおして、英語で具体的な情報を聴き取ったり、概要や詳細な情報を正確に理解することができる。	◎	○	○	◎		
	NWA09	TOEIC II	選択	3年	TOEIC形式の問題演習をとおして、さらに英語の聴解力・読解力・運用力を向上できる。	◎	○	○	◎		
	NWA10	TOEIC III	選択	3年	TOEIC形式の問題演習をとおして、さらに英語の聴解力・読解力・運用力を向上できる。	◎	○	○	◎		
	NWA11	Current English I	選択	2年	新聞やニュース、インターネットなど、メディアの英語を読んだり聴いたりして、その概要や詳細、論点を理解することができる。	◎	○	◎	◎		
	NWA12	Current English II	選択	2年	新聞やニュース、インターネットなど、メディアの英語を読んだり聴いたりして、その概要や詳細、論点を理解することができる。	◎	○	◎	◎		
	NWA13	Writing I	選択	2年	英語の段落・ライティングの手法を身につけ、英語を英語母語話者の発想で書けるようになる。	◎	○	◎	◎		
	NWA14	Writing II	選択	2年	英語の段落・ライティングの手法を身につけ、英語を英語母語話者の発想で書けるようになる。	◎	○	◎	◎		
	NWA15	Advanced Reading I	選択	2年	より難易度の高い英文読解をとおして英文の読解力を高め、様々なジャンルに応じた英文の読み方ができるようになる。	◎	○	◎	◎		
	NWA16	Advanced Reading II	選択	2年	より難易度の高い英文読解をとおして英文の読解力を高め、様々なジャンルに応じた英文の読み方ができるようになる。	◎	○	◎	◎		
	NWA17	Communication Skills I	選択	2年	英語のスピーキング力をさらに高め、英語で効果的に意思疎通できるようにする。	◎	○	○	◎		
	NWA18	Communication Skills II	選択	2年	英語のスピーキング力をさらに高め、英語で効果的に意思疎通できるようにする。	◎	○	○	◎		
	NWA19	Communication Skills III	選択	3年	英語スピーキングの応用力を身につけ、英語で自然に意思疎通できるようにする。	◎	○	○	◎		
	NWA20	Communication Skills IV	選択	3年	英語スピーキングの応用力を身につけ、英語で自然に意思疎通できるようにする。	◎	○	○	◎		
	NWA21	English Seminar I	選択	3年	英語の原書講読や英語を用いたプレゼンテーションなど、より高度な英語学習をとおして、英語の読解力・聴解力・文法力・スピーキング力を向上できる。	◎	○	◎	◎		
	NWA22	English Seminar II	選択	3年	英語の原書講読や英語を用いたプレゼンテーションなど、より高度な英語学習をとおして、英語の読解力・聴解力・文法力・スピーキング力を向上できる。	◎	○	◎	◎		
	NWA23	English Seminar III	選択	4年	英語の原書講読や英語を用いたプレゼンテーションなど、より高度な英語学習をとおして、英語の読解力・聴解力・文法力・スピーキング力を向上できる。	◎	○	◎	◎		
	NWA24	English Seminar IV	選択	4年	英語の原書講読や英語を用いたプレゼンテーションなど、より高度な英語学習をとおして、英語の読解力・聴解力・文法力・スピーキング力を向上できる。	◎	○	◎	◎		

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

<b>学習・教育目標</b>	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身につけることができる。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身につけることができる。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身につけることができる。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
----------------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
						①	②	③	④	⑤	⑥
ドイツ語	NWB01	ドイツ語入門Ⅰ	必修	1年	正しい発音・アクセントでドイツ語文を読むことができる。また基本的な文法・語句を理解し、文の内容を理解・表現できる。	◎	○		○		
	NWB02	ドイツ語入門Ⅱ	必修	1年	正しい発音・アクセントでドイツ語文を読むことができる。また基本的な文法・語句を理解し、文の内容を理解・表現できる。	◎	○		○		
	NWB03	ドイツ語基礎Ⅰ	必修	1年	正しい発音・アクセントでドイツ語文を読むことができる。また基本的な文法・語句を理解し、文の内容を理解・表現できる。	◎	○		○		
	NWB04	ドイツ語基礎Ⅱ	必修	1年	正しい発音・アクセントでドイツ語文を読むことができる。また基本的な文法・語句を理解し、文の内容を理解・表現できる。	◎	○		○		
	NWB05	ドイツ語応用Ⅰ	選択	2年	初級を終えて次のステップに相応しい文法・読み・聞き取り・作文能力を習得する。またドイツで日常生活に役立つドイツ語能力を身につけることができる。	○			○	◎	
	NWB06	ドイツ語応用Ⅱ	選択	2年	初級を終えて次のステップに相応しい文法・読み・聞き取り・作文能力を習得する。またドイツで日常生活に役立つドイツ語能力を身につけることができる。	○			○	◎	
	NWB07	ドイツ語演習Ⅰ	選択	3年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身につけることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	○			○	◎	
	NWB08	ドイツ語演習Ⅱ	選択	3年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身につけることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	○			○	◎	
	NWB09	ドイツ語演習Ⅲ	選択	4年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身につけることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	○			○	◎	
	NWB10	ドイツ語演習Ⅳ	選択	4年	基本的な文法や語彙を理解し、より深く外国語を理解・表現できる能力を身につけることができる。またその言語の背景にある文化についての理解を深めることができる。	○			○	◎	
フランス語	NWC01	フランス語入門Ⅰ	必修	1年	フランス語の基本的な口語表現ができるようになる。	○	○		◎		
	NWC02	フランス語入門Ⅱ	必修	1年	フランス語の基本的な口語表現ができるようになる。	○	○		◎		
	NWC03	フランス語基礎Ⅰ	必修	1年	フランス語の基礎的な文法を理解することができる。	○	○		◎		
	NWC04	フランス語基礎Ⅱ	必修	1年	フランス語の基礎的な文法を理解することができる。	○	○		◎		
	NWC05	フランス語応用Ⅰ	選択	2年	フランス語で表現する能力をさらに身につけることができる。	○			○	◎	
	NWC06	フランス語応用Ⅱ	選択	2年	フランス語で表現する能力をさらに身につけることができる。	○			○	◎	
	NWC07	フランス語演習Ⅰ	選択	3年	フランス語の総合的な能力を身につけることができる。	○			○	◎	
	NWC08	フランス語演習Ⅱ	選択	3年	フランス語の総合的な能力を身につけることができる。	○			○	◎	
	NWC09	フランス語演習Ⅲ	選択	4年	フランス語の総合的な能力を身につけることができる。	○			○	◎	
	NWC10	フランス語演習Ⅳ	選択	4年	フランス語の総合的な能力を身につけることができる。	○			○	◎	

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

<b>学習・教育目標</b>	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身につけることができる。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身につけることができる。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身につけることができる。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
----------------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
中国語	NWD01	中国語入門Ⅰ	必修	1年	正しく発音ができ、初歩的な会話ができる。	○	◎		○		
	NWD02	中国語入門Ⅱ	必修	1年	正しく発音ができ、簡単な日常会話ができる。	○	◎		○		
	NWD03	中国語基礎Ⅰ	必修	1年	初歩的な文法を身につけることができる。	○	◎		○		
	NWD04	中国語基礎Ⅱ	必修	1年	文法に基づいて、簡単な中国語の「読み・書き」ができる。	○	◎		○		
	NWD05	中国語応用Ⅰ	選択	2年	一年次で学習した内容を基礎に、聴く能力・話す能力および読解力を高めることができる。	○	○		◎		
	NWD06	中国語応用Ⅱ	選択	2年	一年次で学習した内容を基礎に、聴く能力・話す能力および読解力を更に高めることができる。	○	○		◎		
	NWD07	中国語演習Ⅰ	選択	3年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の向上をめざす。	○			◎		
	NWD08	中国語演習Ⅱ	選択	3年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の向上をめざす。	○			◎		
	NWD09	中国語演習Ⅲ	選択	4年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の更なる向上をめざす。	○			◎		
	NWD10	中国語演習Ⅳ	選択	4年	中国語への関心を高めることによって、総合的な中国語コミュニケーション能力の更なる向上をめざす。	○			◎		
韓国・朝鮮語	NWE01	韓国・朝鮮語入門Ⅰ	必修	1年	ハングル文字の読み書き(挨拶用語、韓国語学史)ができる。	◎	○				
	NWE02	韓国・朝鮮語入門Ⅱ	必修	1年	名詞文・用言文の習得と会話への適用ができる。		◎		○		
	NWE03	韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	必修	1年	ハングル文字、初歩文法を習得できる。	◎	○				
	NWE04	韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	必修	1年	初歩文法を完成し、ハヨ体を中心とした「用言活用」が習得できる。		◎		○		
	NWE05	韓国・朝鮮語応用Ⅰ	選択	2年	基礎会話・読解練習を中心に、不規則用言が習得できる。			◎	○		
	NWE06	韓国・朝鮮語応用Ⅱ	選択	2年	基礎会話・読解練習を中心に、不規則用言が習得できる。また、中級文法の完成、検定試験挑戦もめざす。			◎	○		
	NWE07	韓国・朝鮮語演習Ⅰ	選択	3年	中級文法の会話・読解などへ適応することができる。		△	◎	○		
	NWE08	韓国・朝鮮語演習Ⅱ	選択	3年	中級文法の会話・読解などへ適応することができる。		△	◎	○		
	NWE09	韓国・朝鮮語演習Ⅲ	選択	4年	上級文法の学習と会話・読解などへ適応することができる。		△	◎	○		
	NWE10	韓国・朝鮮語演習Ⅳ	選択	4年	上級文法の学習と会話・読解などへ適応することができる。		△	◎	○		

## カリキュラム・マップ(共通教育科目)

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】	一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。
	②【大学教育導入】	大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身につけることができる。
	③【発展的思考・論理】	専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身につけることができる。
	④【外国語運用】	グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身につけることができる。
	⑤【情報処理】	進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。
	⑥【健康体力と身体運動】	生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
						①	②	③	④	⑤	⑥
ロシア語	NWF01	ロシア語入門Ⅰ	必修	1年	文字を中心に、ロシア語文法の基礎を理解する。	◎	○		◎		
	NWF02	ロシア語入門Ⅱ	必修	1年	文字を中心に、ロシア語文法の基礎を理解する。	◎	○		◎		
	NWF03	ロシア語基礎Ⅰ	必修	1年	発音を中心に、初級会話表現を覚える。	○	○		◎		
	NWF04	ロシア語基礎Ⅱ	必修	1年	発音を中心に、初級会話表現を覚える。	○	○		◎		
	NWF05	ロシア語応用Ⅰ	選択	2年	文法表と辞書の使い方を習得する。	◎	○		◎		
	NWF06	ロシア語応用Ⅱ	選択	2年	文法表と辞書の使い方を習得する。	◎	○		◎		
	NWF07	ロシア語演習Ⅰ	選択	3年	ロシア語独自の発想を学び、自分についてロシア語で話すことができるようになる。	○	○		◎		
	NWF08	ロシア語演習Ⅱ	選択	3年	ロシア語独自の発想を学び、自分についてロシア語で話すことができるようになる。	○	○		◎		
	NWF09	ロシア語演習Ⅲ	選択	4年	中級以上のロシア語会話能力を習得する。	○	○		◎		
	NWF10	ロシア語演習Ⅳ	選択	4年	中級以上のロシア語会話能力を習得する。	○	○		◎		
タイ語	NWG01	タイ語入門Ⅰ	必修	1年	タイ語文法の基礎を理解する。	◎	◎		◎		
	NWG02	タイ語入門Ⅱ	必修	1年	タイ語文法の基礎を理解する。	○	○		◎		
	NWG03	タイ語基礎Ⅰ	必修	1年	文字を中心に、タイ語の基礎を理解する。	◎	◎		◎		
	NWG04	タイ語基礎Ⅱ	必修	1年	文字を中心に、タイ語の基礎を理解する。	○	○		◎		
	NWG05	タイ語応用Ⅰ	選択	2年	タイ語文法を理解し、応用できるようになる。			○	◎		
	NWG06	タイ語応用Ⅱ	選択	2年	タイ語文法を理解し、応用できるようになる。			○	◎		
	NWG07	タイ語演習Ⅰ	選択	3年	タイ語の読解に慣れ親しむ。			○	◎		
	NWG08	タイ語演習Ⅱ	選択	3年	タイ語の読解に慣れ親しむ。			○	◎		
	NWG09	タイ語演習Ⅲ	選択	4年	タイ語の読解に慣れ親しむ。			○	◎		
	NWG10	タイ語演習Ⅳ	選択	4年	タイ語の読解に慣れ親しむ。			○	◎		

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

<b>学習・教育目標</b>	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身につけることができる。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身につけることができる。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身につけることができる。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
----------------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
						①	②	③	④	⑤	⑥
日本語	NWH01	日本語Ⅰ	必修	1年	大学の授業を受講するのに必要な、入門レベルのアカデミック・スキルを身につける。	○	◎		◎		
	NWH02	日本語Ⅱ	必修	1年	大学の授業を受講するのに必要な、入門レベルのアカデミック・スキルを身につける。	○	◎		◎		
	NWH03	日本語Ⅲ	必修	1年	大学の授業を受講するのに必要な、論理的な表現力を身につける。	○	◎		◎		
	NWH04	日本語Ⅳ	必修	1年	大学の授業を受講するのに必要な、論理的な表現力を身につける。	○	◎		◎		
	NWH05	日本語Ⅴ	必修	2年	文章の内容を正確に理解して要約や意見を述べる力を身につける。		○	○	◎		
	NWH06	日本語Ⅵ	必修	2年	文章の内容を正確に理解し、関連した情報を収集しまとめる力を身につける。		○	○	◎		
	NWH07	日本語Ⅶ	必修	2年	発表や討論等を通じて、総合的な日本語運用能力を身につける。		○	○	◎		
	NWH08	日本語Ⅷ	必修	2年	資料を引用して論拠を示すレポートを作成し、総合的な日本語運用能力を身につける。		○	○	◎		
	NWH09	専門日本語Ⅰ	選択	3年	論理的な文章を構成し、聞き手を意識した発表を行う能力を身につける。	○		◎	◎		
	NWH10	専門日本語Ⅱ	選択	3年	自分で発見した問題について客観的な資料に基づいて論文を作成し、自分の主張を効果的に伝えられる能力を身につける。	○		◎	◎		
	NWH11	ビジネス日本語Ⅰ	選択	3年	就職活動に関連する場面での対人関係を考慮した会話能力を身につける。	○			◎		
	NWH12	ビジネス日本語Ⅱ	選択	3年	ビジネス場面での対人関係と状況を考慮した会話能力を身につける。	○			◎		
	NWH13	日本事情Ⅰ	選択	1年	日本社会や日本人への理解を深めることができる。	◎	○		○		
	NWH14	日本事情Ⅱ	選択	1年	日本社会や日本人への理解を深めることができる。	◎	○		○		



カリキュラム・マップ(共通教育科目)

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識が身につく。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身につく。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力が身につく。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
---------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
数理・情報	NWK01	数理学	選択	1年	数学のテーマを通じて論理的思考を体得し、思考の過程を数式を用いて表現できるようになる。	○	◎				
	NWK02	確率の基礎	選択	1年	不確実な事象や確率の意味を理解し、基本的な確率計算ができるようになる。	○	◎				
	NWK03	確率の応用	選択	1年	試行回数を増やした時の偶然変動(大数の法則や中心極限定理)が理解できる。	○		◎			
	NWK04	統計の基礎	選択	1年	数値データの基本的な統計処理技術が身に付き、処理結果の解釈ができる。	○	◎				
	NWK05	統計の応用	選択	1年	母平均などの推定と検定を行うことができる。	○		◎			
	NWK06	プレゼンテーション技術	選択	1年	効果的なプレゼンテーションを行うための基礎知識と技術が身につく。		○			◎	
	NWK07	マルチメディア表現法	選択	1年	マルチメディア作品を制作するための基礎知識と技術が身につく。	○				◎	
	NWK08	情報倫理	選択	1年	ネットワーク社会を生きるために必要な倫理、及びその基礎理論・知識が身につく。	◎	○				
	NWK09	社会データ分析入門	選択	1年	実社会で活かせるデータ分析を行うための基礎知識と技術が身につく。		◎			○	
	NWK10	情報の科学	選択	1年	デジタルデータの分析や編集を行うための基礎知識と技術が身につく。	○				◎	
	NWK11	コンピュータ科学の基礎	選択	1年	コンピュータ及びこれを利用するシステムに関する基礎理論と知識が身につく。	○				◎	
	NWK12	プログラミング	選択	1年	プログラムの基本的な構造を理解し、目的に合わせたコードを実装できるようになる。		○			◎	
	NWK13	情報リテラシー・入門	選択	1年	学生生活や学習を効果的に進めるための基本的な情報リテラシーが身につく。		○			◎	
	NWK14	情報リテラシー・応用	選択	1年	論文作成などに活用できる総合的な情報リテラシーが身につく。		○			◎	
自然	NWK21	科学と社会	選択	1年	自然科学と社会との関係についての理解が深まる。	◎	△	◎			
	NWK22	宇宙	選択	1年	太陽系と銀河系のしくみや、宇宙の誕生と発展に関する基礎的な知識が身につく。	◎	△	◎			
	NWK23	地球	選択	1年	地球の成り立ちについての基礎的な知識が身につく。	◎	△	◎			
	NWK24	物質科学	選択	1年	身近な物質を有機化学的な視点で捉えられるようになるための基礎的な知識・考え方を習得する。	◎	△	◎			
	NWK25	資源・エネルギー	選択	1年	物質資源・エネルギー資源についての科学的な理解が深まる。	◎	△	◎			
	NWK26	環境の科学	選択	1年	地球温暖化のメカニズムを理解し、今後の地球環境を自ら考える力を身につける。	◎	△	◎			
	NWK27	環境と都市	選択	1年	災害の発生メカニズムを理解し、災害と都市の関係を理解することができる。	◎	△	◎			
	NWK28	生命の科学	選択	1年	生物の体内構造や生理メカニズムを分子レベルで理解するための基礎的な知識・考え方を習得する。	◎	△	◎			
	NWK29	生物コミュニケーション	選択	1年	ヒトを含めた生物のコミュニケーションの進化と多様性についての基礎的な知識が身につく。	◎	△	◎			
	NWK30	生態学	選択	1年	生き物の系統の重要性と、生き物が示すさまざまなパターンの意味を理解する視点を獲得することを目標とする。	◎	△	◎			

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

学習・教育目標	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識が身につく。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身につく。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力が身につく。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
---------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
	NWK31	健康と運動の科学	選択	1年	正しい運動実践による体力・健康づくりを実践できる力が身につく。	○	△				◎
	NWK32	健康と栄養	選択	1年	科学的な根拠のある健康栄養情報を評価して判断することや自分自身の食事の栄養調査を実施して食生活における栄養摂取を考え改善することができる。	○	△	○			◎
	NWK33	スポーツの科学	選択	1年	さまざまなスポーツを科学的な視点から分析することができる。スポーツを『みる立場』から考えられることができる。	○	△				◎
社会	NWK41	憲法とくらし	選択	1年	憲法の原理原則に照らして現実社会のさまざまな人権問題・憲法問題を考えていけるようになる。	◎	△	○			
	NWK42	法とくらし	選択	1年	法学学の基礎的な知識が身につく。	◎	△	○			
	NWK43	政治とくらし	選択	1年	政治学における基本的な知識(制度、歴史、学説、理論)が身につく。	◎	△	○			
	NWK44	市場経済とくらし	選択	1年	グローバルイゼーションという重要な社会経済現象の内容を広く深く理解できるようになる。	◎	△	○			
	NWK45	国際社会と政治	選択	1年	国際政治学における基礎概念を習得し、日本と東アジアの歴史的今日的課題を考えるための知識と視点を獲得する。	◎	△	○			
	NWK46	情報と社会	選択	1年	広義の意味での情報リテラシーが身につく。	◎	△	○			
	NWK47	社会科学入門	選択	1年	働いて得た収入や学んで得た情報を、他社と共に社会を作ることにいかせる人が社会人であり、その理由をともに学び活かすことができる。	◎	△	○			
	NWK48	社会科学応用	選択	1年	災害や事故に直面した時、どのように互いを支え、協力し、人間らしい暮らしを取り戻していけるのか、震災復興の現段階に学ぶことで理解を深めることができる。	◎	△	○			
	NWK49	社会学	選択	1年	今日の社会の基本的問題を多角的に考えることができるようになる。	◎	△	○			
	NWK50	現代コミュニティ論	選択	1年	コミュニティの生かし方、関わり方、作り方を理解できるようになる。	◎	△	○			
	NWK51	現代社会論	選択	1年	現代社会における諸問題を多方面から考えられる視点を獲得することができる。	◎	△	○			
	NWK52	国際社会とNGO	選択	1年	NGOとは何か、どういった活動を展開してきた、しているのか。また、その将来像と自分自身との関係について分析できるようになる。	◎	△	○			
	NWK53	現代社会とメディア	選択	1年	メディアの政治的役割に対する分析力を修得することができる。	◎	△	○			
	NWK54	社会思想史	選択	1年	現在の議会、そして法律とに、西欧に由来する普遍的な政治的叡智が凝縮されていることを認識することができる。	◎	△	○			
	NWK55	日本史	選択	1年	高校までに習った日本史の概念を一度解体して先入観を取り除き、この授業を通して自分なりの歴史観を再構築する。	◎	△	○			
	NWK56	歴史学	選択	1年	世界史学の基礎的な学力を養成することを目標とする。	◎	△	○			
	NWK57	東アジア近代史	選択	1年	中国、朝鮮、日本の東アジア近代の歴史を学ぶことによって、今につながる歴史問題の淵源を正しく認識できるようになる。	◎	△	○			
	NWK58	アジア地誌	選択	1年	広く、アジア社会の実態を理解できるようになる。	◎	△	○			
	NWK59	国際事情	選択	1年	長い20世紀と短い20世紀の理解、特に戦間期の理解を深めることができる。	◎	△	○			
	NWK60	地理学通論	選択	1年	地理学的基本知識が身につく。	◎	△	○			
NWK61	地誌学	選択	1年	地誌学的な観点から、社会を見る目を養うことができる。	◎	△	○				

カリキュラム・マップ(共通教育科目)

<b>学習・教育目標</b>	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識が身につく。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的思考・論理能力を総合的に身につく。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力が身につく。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身につけることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
----------------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連					
						①	②	③	④	⑤	⑥
人文	NWK71	哲学	選択	1年	哲学の基礎知識が身につく。	◎	△	○			
	NWK72	現代の思想	選択	1年	システム論的発想力が身につく。	◎	△	○			
	NWK73	言語と人間	選択	1年	言葉と人間の関わりの課題や研究を通じ、問題発見と解決のためのプロセスが身につく。	◎	△	○			
	NWK74	民族と文化	選択	1年	ヒトと「文明」の発生、変化に関する最新の研究情報を学び、論理的に考える力が身につく。	◎	△	○			
	NWK75	民族と国家	選択	1年	人間社会の多様性や国際社会を理解するための基礎的な教養が身につく。	◎	△	○			
	NWK76	社会と宗教	選択	1年	宗教の性格と社会の有様との関連を理解し、主体的に宗教について考えるための基礎知識および方法を習得することができる。	◎	△	○			
	NWK77	心理学	選択	1年	心理学に関する基礎的な知識と、科学的な思考を修得することができる。	◎	△	○			
	NWK78	異文化コミュニケーション	選択	1年	身の回りの諸問題に関心を持ち、他者に配慮する意識を持つことができるようになる。	◎	△	○			
	NWK79	倫理学通論	選択	1年	カント哲学の基本を理解することができる。	◎	△	○			
	NWK80	文学と人間(東洋)	選択	1年	社会生活をするうえで必要な教養および心豊かに生きていく力が身につく。	◎	△	○			
	NWK81	文学と人間(西洋)	選択	1年	文芸理論、文学解釈を通して、ものごとを複眼的な視点から検討する力が身につく。	◎	△	○			
	NWK82	美術と人間	選択	1年	対象について基本的な知識を持ち、正しく理解することができる。	◎	△	○			
	NWK83	映画と人間	選択	1年	中国などの東アジア映画作品の特徴をつかみ、社会的背景を理解する。	◎	△	○			
	NWK84	音楽と人間	選択	1年	音楽と人間の関わりを通じ、19世紀ヨーロッパ市民社会と国民国家の形成を理解する。	◎	△	○			
	NWK85	演劇と人間	選択	1年	演劇の世界を理解することができる。	◎	△	○			
総合	NWL01	総合科目	選択	1年	様々なテーマを専門的視野から考察することで、総合的思考能力が身につく。	○	△	◎			
	NWL51	総合演習Ⅰ	選択	2年	現代的諸問題や市民的教養としての諸テーマの考察を通じ、論理的思考能力やプレゼンテーション能力が身につく。	○	△	◎			
	NWL52	総合演習Ⅱ	選択	2年	現代的諸問題や市民的教養としての諸テーマの考察を通じ、論理的思考能力やプレゼンテーション能力が身につく。	○	△	◎			
	NWL53	総合演習Ⅲ	選択	3年	現代的諸問題や市民的教養としての諸テーマの考察を通じ、論理的思考能力やプレゼンテーション能力が身につく。	○	△	◎			
	NWL54	総合演習Ⅳ	選択	3年	現代的諸問題や市民的教養としての諸テーマの考察を通じ、論理的思考能力やプレゼンテーション能力が身につく。	○	△	◎			



カリキュラム・マップ(共通教育科目)

<b>学習・教育目標</b>	①【幅広い視野と教養】 一般社会常識として幅広い視野と教養をバランスよく身に付け、知性豊かな人間性や倫理を養成することができる。 ②【大学教育導入】 大学教育への導入を促し、学習・研究に必要な基礎的能力や知識を身に付けることができる。 ③【発展的思考・論理】 専門教育科目など高度な学問修得の基礎となる発展的な思考・論理能力を総合的に身に付けることができる。 ④【外国語運用】 グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力を身に付けることができる。 ⑤【情報処理】 進化するICT社会に必要な情報処理・リテラシー能力をバランスよく身に付けることができる。 ⑥【健康体力と身体運動】 生活習慣の改善と身体運動実践能力の習得により、心身ともに良好な健康状態と体力水準を保つことができる。
----------------	---

区分	授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
						①	②	③	④	⑤	⑥
体育	NWM01	スポーツ・健康演習	必修	1年	生活習慣病予防のための基礎知識と生涯スポーツの正しい運動実践能力が身につく。	○	○				◎
	NWM02	スポーツ実技 I	選択	2年	スポーツ実践の基礎的な技能から応用的な技能が身につく。	○					◎
	NWM03	スポーツ実技 II	選択	2年	スポーツ実践の基礎的な技能から応用的な技能が身につく。	○					◎

カリキュラム・マップ(法学部)

学習・教育目標	① 法や政治についての基本的・基礎的な知識・考え方を習得して、社会正義や人権について理解することができる。 ② 市民社会における法あるいは政治に関する問題を見出し、法学的・政治学的視点からそれらの問題を分析して、検討することができる。 ③ 国や地方における法あるいは政治に関する問題を見出し、法学的・政治学的視点からそれらの問題を分析して、検討することができる。 ④ わが国の司法制度を前提とした専門的な視点から社会のさまざまな分野・領域で発生する問題を分析し、法規範および法的諸原則に則ってそれらの問題に対する解決策を検討することができる。 ⑤ 国際的な観点からわが国および国際社会における法あるいは政治に関する問題を見出し、それらの問題を分析して、検討することができる。 ⑥ 法や政治に関する文献・資料を読み解くこと、それらに関する文章を正確に書くこと、および、それらに関する事項を他人に伝えそして議論することができる。
---------	---

授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
JXA01	法 哲 学 I	選 択	3 年	法についての批判的・哲学的思考力を養成する。	◎	○	○	◎		
JXA02	法 哲 学 II	選 択	3 年	法についての批判的・哲学的思考力を養成する。	◎	○	○	◎		
JXA03	法 思 想 史 I	選 択	2 年	法についての基本的な考え方を過去から学ぶ。	◎	○	○	○		
JXA04	法 思 想 史 II	選 択	2 年	法についての基本的な考え方を過去から学ぶ。	◎	○	○	○		
JXA05	法 社 会 学 I	選 択	3 年	我々が自明なものとして受け入れている近代的な法のあり方について法社会学的に考察することができる。	◎	○	○	○		
JXA06	法 社 会 学 II	選 択	3 年	人間の死をめぐる諸現象について法社会学的に考察することができる。	◎	○	○	○		
JXA07	西 洋 法 制 史 I	選 択	3 年	六法に掲載されている(日本)現行法の重要な規定の背後に、ヨーロッパ法文化の裏づけがあるという歴史観を取得できる。	◎	○	◎	○	◎	
JXA08	西 洋 法 制 史 II	選 択	3 年	六法に掲載されている(日本)現行法の重要な規定の背後に、ヨーロッパ法文化の裏づけがあるという歴史観を取得できる。	◎	○	◎	○	◎	
JXA09	日 本 法 制 史 I	選 択	2 年	日本近代法制史学習および、古今東西の法の基礎的理解をする。	◎	◎	○	○		
JXA10	日 本 法 制 史 II	選 択	2 年	現代日本法が世界史的な文脈の中で成立していることが把握できる。	◎	◎	○	○	○	
JXA11	比 較 法 I	選 択	2 年	一定の基準に基づいて複数の法体系を比較し分類できること、英米法系と大陸法系の共通点と相違点を見いだせること、および世界的な指標で法の動向を分析できる視点をもつことが、本講義で目指されるべき目標である。	○	○	◎	○	◎	
JXA12	比 較 法 II	選 択	2 年	現在進行形で変化しつつあるEUを法的側面から正確に理解すること、とりわけ、EU法に特殊な法概念や法制度に関する知識を獲得し、複雑なEU法の基本構造を正しく理解することを目標とする。	○	○	◎	○	◎	
JXA13	外 国 法 I	選 択	3 年	フランス第五共和制の統治機構に顕著な特徴を客観的に把握することを目標とする。大統領制や二元的裁判制度など、日本には無いが諸外国ではしばしば採用されている制度について知識を得るとともに、執行府・立法府の機能など、日本法と共通する点についても理解できることを目指す。フランス法との比較を通じて日本法を客観的に理解できる力を身につけることも最終目標である。		○	○	○	◎	
JXA14	外 国 法 II	選 択	3 年	フランスの立法や判例を学ぶことを通じて、フランスに固有な法概念や法的思考方法を学び、最終的に、それらをもとに日本法を客観的に見直すことのできる能力を身につけることを目標とする。		○	○	○	◎	
JXA15	中 国 法 I	選 択	3 年	中国法の概要及び特徴への理解。		△			○	
JXA16	中 国 法 II	選 択	3 年	中国ビジネス法及びその実践への理解。		△			○	
JXB01	憲 法 ・ 基 本 的 人 権 I	必 修	1 年	憲法の原理原則に照らして現実社会のさまざまな人権問題を考えたいけるようにする。	◎	◎	◎	◎		
JXB02	憲 法 ・ 基 本 的 人 権 II	必 修	1 年	憲法の原理原則に照らして現実社会のさまざまな人権問題を考えたいけるようにする。	◎	◎	◎	◎		
JXB03	憲 法 ・ 統 治 機 構 I	選 択	1 年	憲法の統治機構に関する基本的な知識をえることができる。		◎	◎	◎		
JXB04	憲 法 ・ 統 治 機 構 II	選 択	1 年	憲法の統治機構に関する基礎的能力をえることができる。		◎	◎	◎		
JXB05	行 政 法 総 論 I	選 択	2 年	行政法総論に関する重要な法的知識を習得するとともに、現実社会における行政法の問題状況についての法的解決能力を獲得することができる。	○	◎	◎	◎		
JXB06	行 政 法 総 論 II	選 択	2 年	行政法総論に関する重要な法的知識を習得するとともに、現実社会における行政法の問題状況についての法的解決能力を獲得することができる。	○	◎	◎	◎	△	
JXB07	行 政 救 済 法	選 択	3 年	行政救済法に関する重要な法的知識を習得するとともに、現実社会における行政救済法の問題状況についての法的解決能力を獲得することができる。		◎	◎	◎		
JXB08	行 政 法 各 論	選 択	3 年	地方自治法及び公務員法制に関する重要な法的知識を習得するとともに、現実社会における地方自治等をめぐる法的問題状況についての解決能力を獲得することができる。		○	◎	◎		
JXB09	租 税 法 I	選 択	3 年	税法の基本を全般的に理解し、税に関するニュースを自分で理解できるようになること。 正確な知識に基づいて正しい判断を下すことのできる「健全な納税者」になること。 また、税務に携わる専門家を目指すための素地をつくること。		○	◎	◎		

カリキュラム・マップ(法学部)

学習・教育目標	① 法や政治についての基本的・基礎的な知識・考え方を習得して、社会正義や人権について理解することができる。 ② 市民社会における法あるいは政治に関する問題を見出し、法学的・政治学的視点からそれらの問題を分析して、検討することができる。 ③ 国や地方における法あるいは政治に関する問題を見出し、法学的・政治学的視点からそれらの問題を分析して、検討することができる。 ④ わが国の司法制度を前提とした専門的な視点から社会のさまざまな分野・領域で発生する問題を分析し、法規範および法的諸原則に則ってそれらの問題に対する解決策を検討することができる。 ⑤ 国際的な観点からわが国および国際社会における法あるいは政治に関する問題を見出し、それらの問題を分析して、検討することができる。 ⑥ 法や政治に関する文献・資料を読み解くこと、それらに関する文章を正確に書くこと、および、それらに関する事項を他人に伝えそして議論することができる。
---------	---

授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
JXB10	租 税 法 II 選 択	3 年 次	3 年 次	税法の基本を全般的に理解し、税に関するニュースを自分で理解できるようになること。 正確な知識に基づいて正しい判断を下すことのできる「健全な納税者」になること。 また、税務に携わる専門家を目指すための素地をつくること。		○	◎	◎		
JXB11	国 際 法 総 論 I 選 択	2 年 次	2 年 次	①国際社会における国際法の意義と機能をイメージすることができる、②国際法の基本部分に関する主要な国際事例・判例や学説についてその概要を説明することができる、以上の2点である。		○	○	◎	◎	
JXB12	国 際 法 総 論 II 選 択	2 年 次	2 年 次	①国際社会における国際法の意義と機能をイメージすることができる、②国際法の具体的な解釈適用の作業に慣れる、以上の2点である。		○	○	◎	◎	
JXB13	国 際 法 各 論 選 択	3 年 次	3 年 次	①国際社会における国際法の作用と機能を理解することができる、②関連する主要な国際的事例や国際判例についてその概要を説明することができる、以上の2点である。		○	○	◎	◎	
JXB14	国 際 組 織 法 選 択	3 年 次	3 年 次	①国際社会における国際組織の法的位置付けについて理解することができる、②国際紛争解決における国際組織(特に国際連合)の意義と役割について理解することができる、以上の2点である。		○	○	◎	◎	
JXB15	刑 法 総 論 I 必 修	2 年 次	2 年 次	犯罪と刑罰に関する一般原則について、その意義や役割を理解し、刑事実体法に関する基本知識や基本的な考え方を習得できる。	○	◎	◎	◎		
JXB16	刑 法 総 論 II 必 修	2 年 次	2 年 次	刑法総論におけるさまざまな議論を刑法総論全体との関係を意識して理解することにより、刑法総論に関する法的問題を解決するための基礎的能力を習得できる。	○	◎	◎	◎		
JXB17	刑 法 各 論 I 選 択	3 年 次	3 年 次	わが国の刑罰法規に規定される犯罪のうち、個人的法益に対する罪の成立要件に関する基本的な知識や考え方を習得できる。		◎	◎	◎		
JXB18	刑 法 各 論 II 選 択	3 年 次	3 年 次	わが国の刑罰法規に規定される犯罪のうち、社会的法益および国家的法益に対する罪の成立要件に関する基本的な知識や考え方を習得できる。		◎	◎	◎		
JXB19	刑 事 訴 訟 法 I 選 択	3 年 次	3 年 次	犯罪捜査に関する手続の流れやそこで生じる問題を理解し、刑事手続の目的や捜査手続に関する基本的な知識や考え方を習得できる。		○	○	◎		
JXB20	刑 事 訴 訟 法 II 選 択	3 年 次	3 年 次	公判および証拠法に関する基本原則や手続の流れ、および、そこで生じる問題を理解し、公判手続および証拠法に関する基本知識や基本的な考え方を習得できる。		○	○	◎		
JXB21	刑 事 政 策 I 選 択	3 年 次	3 年 次	刑事政策および刑罰等の犯罪対策に関する基礎知識および考え方を理解し、刑事法制に対する基本的な視座を習得できる。		○	◎	○		
JXB22	刑 事 政 策 II 選 択	3 年 次	3 年 次	犯罪者処遇等の犯罪対策に関する基礎知識および考え方を理解し、犯罪及び犯罪者対策に対する基本的な視座を習得できる。		○	◎	○		
JXC01	民 法 総 則 I 必 修	1 年 次	1 年 次	本講義では、民法の基本的なルールを理解することを目標とする。	○	◎	◎	◎		
JXC02	民 法 総 則 II 必 修	1 年 次	1 年 次	民法総則の重要な制度を重点的に理解し、学生が自分で勉強する際の基礎知識を習得する。	○	◎	◎	◎		
JXC03	物 権 法 選 択	2 年 次	2 年 次	講義を通して、物権法の効力や物権法をめぐる問題に対する解釈する能力を身につくようになることを本講義の目標とする。		◎	◎	◎		
JXC04	担 保 物 権 法 選 択	2 年 次	2 年 次	担保物権法の重要論点について理解することを目標とする。		◎	◎	◎		
JXC05	債 権 法 I 選 択	2 年 次	2 年 次	債権総論における重要論点を理解することを目標とする。		◎	◎	◎		
JXC06	債 権 法 II 選 択	2 年 次	2 年 次	債権総論における重要論点について理解することを目標とする。		◎	◎	◎		
JXC07	契 約 法 I 選 択	1 年 次	1 年 次	身近な例を通して学習していき、契約と民法に興味を持ち、それを実生活で活用することができるようにするのが本講義の目的である。		◎	◎	◎		
JXC08	契 約 法 II 選 択	2 年 次	2 年 次	本講義(契約法II)では、民法第三編「債権」第二章「契約」第二節「売買」から第十四節「和解」(555条から696条)の典型契約とこれらに関する民法の他の規定、特別法の知識を習得することを目標とする。		◎	◎	◎		
JXC09	不 法 行 為 法 選 択	2 年 次	2 年 次	事務管理・不当利得・不法行為をめぐる重要論点を理解することを目標とする。		◎	◎	◎		
JXC10	家 族 法 選 択	1 年 次	1 年 次	家族法の重要な制度を理解し、学生が自分で勉強する際の基礎知識を習得する。		◎	◎	◎		
JXC11	相 続 法 選 択	2 年 次	2 年 次	相続・遺言法の重要な制度を理解し、学生が自分で勉強する際の基礎知識を習得する。		◎	◎	◎		
JXC12	民 事 訴 訟 法 I 選 択	3 年 次	3 年 次	民事訴訟法の基礎理論をマスターする。		◎	○	◎		



カリキュラム・マップ(法学部)

学習・教育目標	① 法や政治についての基本的・基礎的な知識・考え方を習得して、社会正義や人権について理解することができる。 ② 市民社会における法あるいは政治に関する問題を見出し、法学的・政治学的視点からそれらの問題を分析して、検討することができる。 ③ 国や地方における法あるいは政治に関する問題を見出し、法学的・政治学的視点からそれらの問題を分析して、検討することができる。 ④ わが国の司法制度を前提とした専門的な視点から社会のさまざまな分野・領域で発生する問題を分析し、法規範および法的諸原則に則ってそれらの問題に対する解決策を検討することができる。 ⑤ 国際的な観点からわが国および国際社会における法あるいは政治に関する問題を見出し、それらの問題を分析して、検討することができる。 ⑥ 法や政治に関する文献・資料を読み解くこと、それらに関する文章を正確に書くこと、および、それらに関する事項を他人に伝えそして議論することができる。
---------	---

授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
					①	②	③	④	⑤	⑥	
JXC13	民事訴訟法 II	選	択3	年	民事訴訟法の基礎理論をマスターする。		◎	○	◎		
JXC14	民事執行法	選	択3	年	民事訴訟法と民法の基本的理解を前提とし、強制執行制度の理解を目的とする。		○	○	○		
JXC15	破産法	選	択3	年	破産法の基礎理論をマスターする。		○	○	◎		
JXC16	国際私法 I	選	択3	年	この講義を通して、国際私法に関する基本的な考え方を理解することができる。また、とりわけ国際家族法における法問題について理解し、自分の言葉で説明することができるようになる。さらに、身近な国際私法問題について多角的な視野から分析する力を身につけることができる。		○	○	◎	◎	
JXC17	国際私法 II	選	択3	年	この講義を通して、国際私法に関する基本的な考え方を理解することができる。また、とりわけ国際家族法における法問題について理解し、自分の言葉で説明することができるようになる。さらに、身近な国際私法問題について多角的な視野から分析する力を身につけることができる。		○	○	◎	◎	
JXC18	国際取引法 I	選	択3	年	国際物品売買取引を理解する上で不可欠な法規範に関する基礎知識を身に付けることができる。		○	○	○	◎	
JXC19	国際取引法 II	選	択3	年	長期継続的国際取引契約と国際通商枠組みに関する基礎的法知識を身に付けることができる。		○	○	○	◎	
JXC20	商法総則・商行為法	選	択3	年	商法総則・商行為法に関する基礎的な知識および基本的な思考法を習得する。		◎	○	◎		
JXC21	会社法 I	選	択2	年	会社法の専門知識や会社における利害関係者の利害調整のルールを修得し、企業実務における会社法の役割を理解することができる。		◎	◎	◎		
JXC22	会社法 II	選	択2	年	会社法の専門知識や会社における利害関係者の利害調整のルールを修得し、企業実務における会社法の役割を理解することができる。		◎	◎	◎		
JXC23	手形法・小切手法	選	択3	年	手形法・小切手法の基本知識の確立。		◎	○	◎		
JXC24	金融商品取引法	選	択3	年	金融商品取引法の知識をふまえて、投資家と発行会社・証券会社との間の情報格差が引き起こす諸問題を法的に分析する力を身につけることができる。		◎	○	○		
JXC25	保険法	選	択3	年	保険法に関する基礎的な知識および基本的な思考法を習得する。		◎	○	○		
JXC26	労働法 I	選	択3	年	労働に関するさまざまなトラブルについて法的にどう解決すればよいかを自分なりに考えることにより、問題解決能力を身に着ける。		◎	○	◎		
JXC27	労働法 II	選	択3	年	労働に関するさまざまなトラブルを法的にどう解決すればよいか自分なりに考えることにより、問題解決能力を身に着ける。		◎	○	◎		
JXC28	社会保険法	選	択3	年	社会保険の仕組みを知り、医療保険、年金保険、労働保険の各制度について、その制度の概要を理解することができる。		○	◎	○		
JXC29	社会福祉法	選	択3	年	生活保護や社会福祉制度の仕組みやその特徴を理解する。		○	◎	○		
JXC30	経済法 I	選	択3	年	独占禁止法の基礎の習得に努める。		◎	◎	◎		
JXC31	経済法 II	選	択3	年	独占禁止法の応用問題とその他の経済規制法および国際経済法について理解することができる。		◎	◎	◎	○	
JXC32	知的財産権法	選	択3	年	知的財産法を基本的レベルで理解し、関連する問題について法的に検討できる力を身につける。		◎	○	◎		
JXC33	消費者法	選	択2	年	消費者被害の現状を把握し、その法的解決方法を理解することができる。		○	○	○		

カリキュラム・マップ(法学部)

学習・教育目標	① 法や政治についての基本的・基礎的な知識・考え方を習得して、社会正義や人権について理解することができる。 ② 市民社会における法あるいは政治に関する問題を見出し、法学的・政治学的視点からそれらの問題を分析して、検討することができる。 ③ 国や地方における法あるいは政治に関する問題を見出し、法学的・政治学的視点からそれらの問題を分析して、検討することができる。 ④ わが国の司法制度を前提とした専門的な視点から社会のさまざまな分野・領域で発生する問題を分析し、法規範および法的諸原則に則ってそれらの問題に対する解決策を検討することができる。 ⑤ 国際的な観点からわが国および国際社会における法あるいは政治に関する問題を見出し、それらの問題を分析して、検討することができる。 ⑥ 法や政治に関する文献・資料を読み解くこと、それらに関する文章を正確に書くこと、および、それらに関する事項を他人に伝えそして議論することができる。
---------	---

授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
JXD01	政治学 I	選択	1年	現代政治を読み解くための基本的な道具立て(文法と語彙)を把握すること。この1年次秋 semester では、政治学の基礎概念の把握、政治学・政治思想の営為の歩みを理解することが中心。	○	◎	◎	◎		
JXD02	政治学 II	選択	2年	政治がどのように作動するのか、その過程(プロセス)を理解すること。	○	◎	◎	◎		
JXD03	ヨーロッパ政治思想史 I	選択	3年	1 古代から現代までのヨーロッパ政治思想の「共通善」を理解できる。 2 現代アメリカの政治思想であるコミュニタリアニズムを理解できる。 3 政治思想と政策の関係を理解できる。		○	○	△	○	
JXD04	ヨーロッパ政治思想史 II	選択	3年	1 古代から現代までのヨーロッパ政治思想の流れを理解できる。 2 とくに民主政治についての古代からの西洋の考え方を理解できる。 3 政治思想が現実の政治とどのように関係するかを理解できる。		○	○	△	○	
JXD05	日本政治史 I	選択	2年	日本政治史の基礎知識と最新の研究成果を身につける。		○	○	△		
JXD06	日本政治史 II	選択	2年	日本政治史の基礎知識と最新の研究成果を身につける。		○	○	△		
JXD07	ヨーロッパ政治史 I	選択	2年	ヨーロッパ政治史の基礎の習得に努める。		○	○	△	○	
JXD08	ヨーロッパ政治史 II	選択	2年	両大戦間期フランス(さらにはヨーロッパ)の政治についての理解を深め、現代にどのようなメッセージを残しているか、を考える一助とする。		○	○	△	○	
JXD09	国際政治史 I	選択	3年	今日の難民問題への関心・理解を通じて世界への視野を広げ、日本を含む国際社会のありうべき姿について考察し課題を提示できる能力を感得することができる。		○	○	△	○	
JXD10	国際政治史 II	選択	3年	冷戦後のグローバリズムへの趨勢とその意味を踏まえ、「わたしたちの立ち位置と課題」を自覚的に捉えるための知見を獲得することができる。		○	○	△	○	
JXD11	行政学 I	選択	1年	まず、行政に関する基礎知識(制度や歴史)の身に付けるのが目標である。さらに、制度の運用実態や機能、社会的影響を説明する理論仮説や解釈を理解し、その妥当性を検討して一定の推論を導くことができれば望ましい。		◎	◎	○		
JXD12	行政学 II	選択	1年	まず、行政に関する基礎知識(制度や歴史)の身に付けるのが目標である。さらに、制度の運用実態や機能、社会的影響を説明する理論仮説や解釈を理解し、その妥当性を検討して一定の推論を導くことができれば望ましい。		◎	◎	○		
JXD13	公共政策論 I	選択	3年	公共政策の性質、形成、実施、評価等に関する主要な理論や考え方を理解する。		◎	◎	○		
JXD14	公共政策論 II	選択	3年	公共政策の形成、実施に関する制度や事例の学習を通して、行政の活動の範囲について理解する。		◎	◎	○		
JXD15	欧米政治論 I	選択	3年	今日のフランスが抱える諸問題とそれらへの政治の対応についての理解を深める。		◎	◎	○	◎	
JXD16	欧米政治論 II	選択	3年	2大政党制、連邦制国家、そして「多文化」社会を特徴とするアメリカの政治について、また、国際政治の中で大きな(あるいは、大きすぎる)位置を維持しようとしているアメリカについて、理解を深めるのが目標である。		◎	◎	○	◎	
JXD17	地方自治論 I	選択	3年	地方自治全般に関する基礎的知識(歴史、理論、制度)を習得する。		○	◎	○		
JXD18	地方自治論 II	選択	3年	地方自治体の実際の活動(政策形成、予算編成、行政改革等)についての知識を習得する。		○	◎	○		
JXD19	自治体職員論	選択	2年	自治体職員に関する制度、働き方、組織管理、人事管理等について包括的に理解する。		○	◎	○		
JXD20	地域政策概論	選択	2年	地域における日常生活に身近な政策を題材とし、政策についての基礎的知識を身につける。		○	◎	○		
JXD21	日本政治論 I	選択	1年	まず、日本政治に関する基礎知識(制度や歴史)の身に付けるのが目標である。さらに、制度の運用実態や機能、社会的影響を説明する理論仮説や解釈を理解し、その妥当性を検討して一定の推論を導くことができれば望ましい。		○	○	○		
JXD22	日本政治論 II	選択	1年	まず、日本政治に関する基礎知識(制度や歴史)の身に付けるのが目標である。さらに、制度の運用実態や機能、社会的影響を説明する理論仮説や解釈を理解し、その妥当性を検討して一定の推論を導くことができれば望ましい。		○	○	○		
CZA10	中華人民共和国史	選択	1年	20世紀後半から今日までの中華人民共和国の歩みを、東アジアの国際関係の変動とあわせて理解する。			△		○	
CZB04	中国政治論	選択	2年	現代中国政治についての基本的理解を身に付ける。			△		○	
CZB37	中国政治思想史	選択	3年	中国政治思想の歴史的考察を通じて現代中国政治の背景を理解する。			△		○	



カリキュラム・マップ(法学部)

学習・教育目標	① 法や政治についての基本的・基礎的な知識・考え方を習得して、社会正義や人権について理解することができる。 ② 市民社会における法あるいは政治に関する問題を見出し、法学的・政治学的視点からそれらの問題を分析して、検討することができる。 ③ 国や地方における法あるいは政治に関する問題を見出し、法学的・政治学的視点からそれらの問題を分析して、検討することができる。 ④ わが国の司法制度を前提とした専門的な視点から社会のさまざまな分野・領域で発生する問題を分析し、法規範および法的諸原則に則ってそれらの問題に対する解決策を検討することができる。 ⑤ 国際的な観点からわが国および国際社会における法あるいは政治に関する問題を見出し、それらの問題を分析して、検討することができる。 ⑥ 法や政治に関する文献・資料を読み解くこと、それらに関する文章を正確に書くこと、および、それらに関する事項を他人に伝えそして議論することができる。
---------	---

授業コード	科目名	科目区分	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 ◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)					
					①	②	③	④	⑤	⑥
JXE01	入門演習	全員履修	1年	法学・政治学の分野で必要となる読む・書く・話す(議論する)ための基礎的な力を身につけることができる。	○	△	△	△	△	◎
JXE11	基礎演習 I	選択	1年	資料や判例を調査し、それらを論理的に分析・検討して、文章にまとめ、あるいは、口頭で他人に伝え、法的議論をするために必要となる基礎的な能力を習得できる。	○	○	○	○	○	◎
JXE12	基礎演習 II	選択	2年	資料や判例を調査し、それらを論理的に分析・検討して、文章にまとめ、あるいは、口頭で他人に伝え、法的議論をするために必要となる基礎的な能力を習得できる。	○	○	○	○	○	◎
JXE13	基礎演習 III	選択	2年	資料や判例を調査し、それらを論理的に分析・検討して、文章にまとめ、あるいは、口頭で他人に伝え、法的議論をするために必要となる基礎的な能力を習得できる。	○	○	○	○	○	◎
JXE21	専門演習 I	必修	3年	それぞれの専門分野における基本的な知識や考え方を理解できると同時に、資料の調査・分析、判例や学説を整理・検討、法的論証、さらには、それらを文章にまとめ、口頭で他人に伝え、法的議論を行うための能力を習得できる。		◎	◎	◎	◎	◎
JXE22	専門演習 II	選択	4年	それぞれの専門分野における重要な知識や考え方を理解できると同時に、資料の調査・分析、判例や学説を整理・検討、法的論証、さらには、それらを文章にまとめ、口頭で他人に伝え、法的議論を行うためのより高い能力を習得できる。		◎	◎	◎	◎	◎
JXE31	卒業論文	選択	4年	それぞれの専門分野における知識や考え方を正確に理解できると同時に、論理的な思考能力と考察力を習得できる。		◎	◎	◎	◎	◎
JXF01	法学特殊講義	選択	2年	法学に関する知識・考え方に対する理解を、より発展・深化させることができる。		○	○	○		
JXF11	政治学特殊講義	選択	2年	政治学に関する知識・考え方に対する理解を、より発展・深化させることができる。		○	○	○		
JXF21	外国法政研究 I	選択	2年	外国の法学・政治学に関する知識・考え方を理解できると同時に、法学・政治学の分野に関する語学力を高めることができる。		△	△	△	◎	
JXF22	外国法政研究 II	選択	2年	外国の法学・政治学に関する知識・考え方を理解できると同時に、法学・政治学の分野に関する語学力を高めることができる。		△	△	△	◎	
JXF23	外国法政研究 III	選択	3年	外国の法学・政治学に関する知識・考え方を理解できると同時に、法学・政治学の分野に関する語学力を高めることができる。		△	△	△	◎	
JXF24	外国法政研究 IV	選択	3年	外国の法学・政治学に関する知識・考え方を理解できると同時に、法学・政治学の分野に関する語学力を高めることができる。		△	△	△	◎	
JXF25	外国法政研究 V	選択	4年	外国の法学・政治学に関する知識・考え方を理解できると同時に、法学・政治学の分野に関する語学力を高めることができる。		△	△	△	◎	
JXF26	外国法政研究 VI	選択	4年	外国の法学・政治学に関する知識・考え方を理解できると同時に、法学・政治学の分野に関する語学力を高めることができる。		△	△	△	◎	